

# 知的障害や自閉症のある人への支援

## - 避難場所編 -



# 災害が起きた時…

障害のある人たちは  
避難場所で過ごせるか  
とても不安です



# 知的障害者の手帳（療育手帳） をもっている方は…



横浜市では約 2万7千人

※全国に知的障害の人は約 108万人

自閉症の人は約 120万人とされています

# 知的障害とは…

知的な発達の遅れと

社会生活への適応のしにくさ

# 言葉を理解したり 使うことが苦手な人もいますが…

絵や記号、写真等を使えば  
意味を理解できる人や  
コミュニケーションを  
とれる人もいます



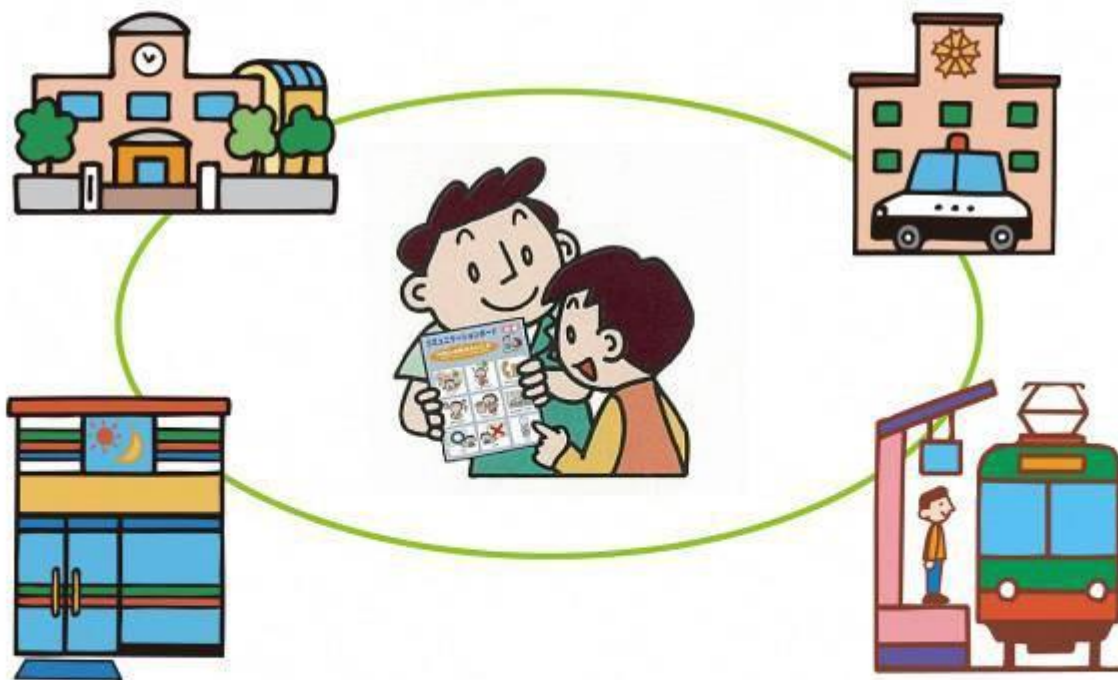
# コミュニケーションボードとは



絵や記号、写真等を使って、言葉でのコミュニケーションの難しさを補うもの

# 「コミュニケーションボード」とは

コミュニケーションボードは、学校や交通機関、お店、  
交番などで使われ始めています



# 災害がおきたときに お願いしたいこと





# 黄色と緑のバンダナ

**黄色** : 支援してほしい人

**緑色** : 支援ができる人



# キョロキョロしたり、 困っているような人がいたら…

- 声をかけてください
- 具体的にゆっくりと  
伝わっているか確かめながら  
訊ねてみてください



# キョロキョロしたり、 困っているような人がいたら…

○コミュニケーションボードも  
使ってみてください



# 迷子かな？



ここで  
待っていてね



ココデ  
マッテイテネ



# コミュニケーションボードも 使ってみてください

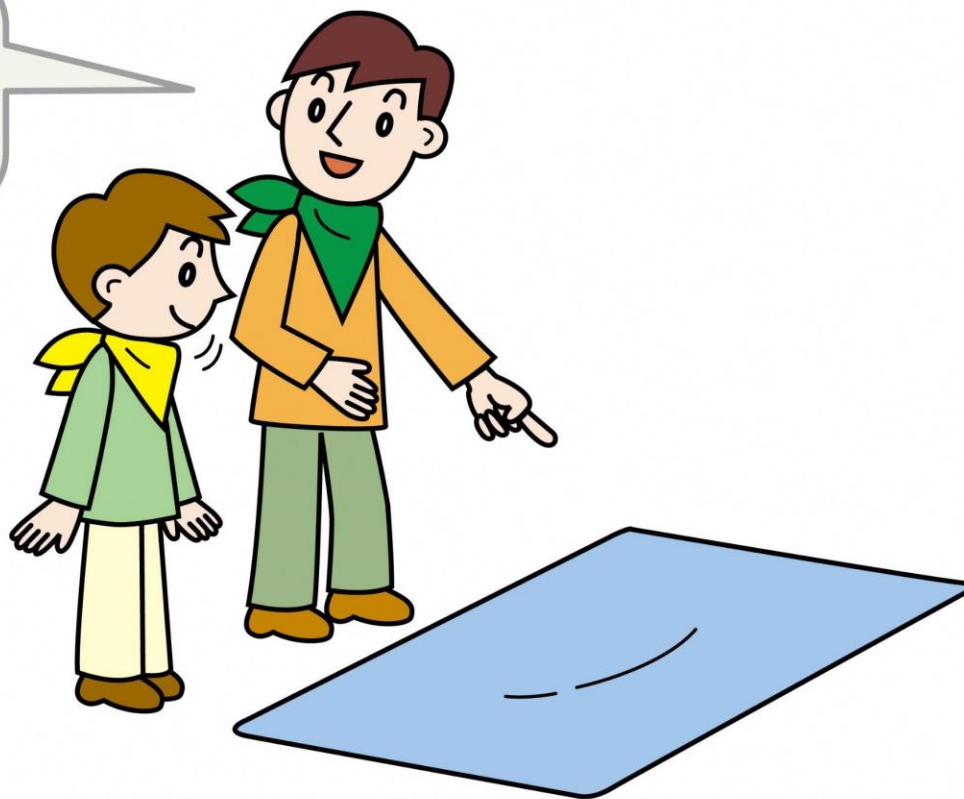


# 抽象的な言葉は 理解できないことがあります



# 具体的に伝えてください

このシートの上  
に  
いてください





# 大切な情報は、言葉・文字・絵など いろいろな方法で伝えてください

- ・ご自分用のカードを持っている人もいます

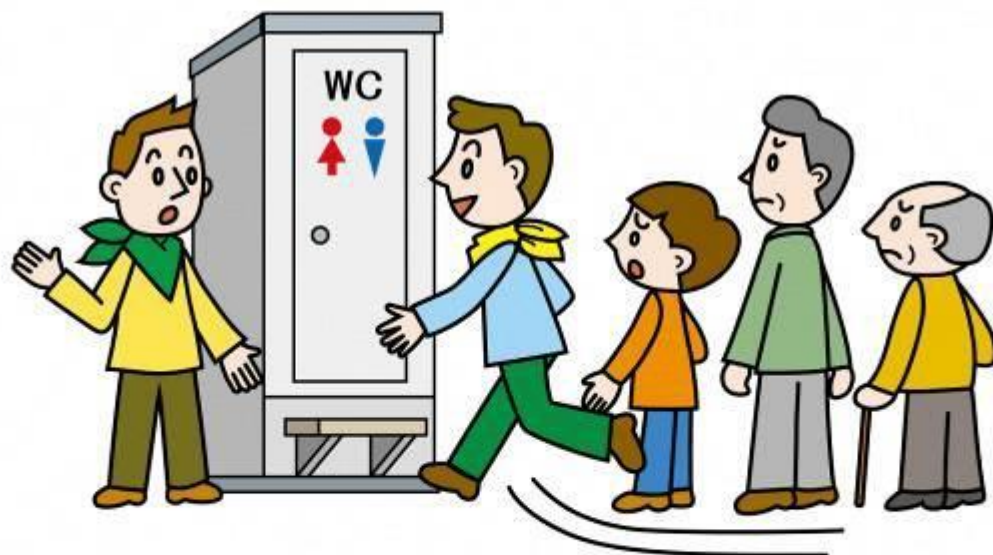


- ・手話や筆談、文字盤を使う人もいます



# 並ぶことや待つことが 苦手な人がいたら…

並んで待つことが難しい人もいます



# 並ぶことや待つことが 苦手な人がいたら…

- 列の後ろへ案内して  
「ここに並んでください」と伝えるなど  
具体的な行動を示してください



# 気になる行動をしている人がいたら…

刺激に対する過敏さ



強い不安

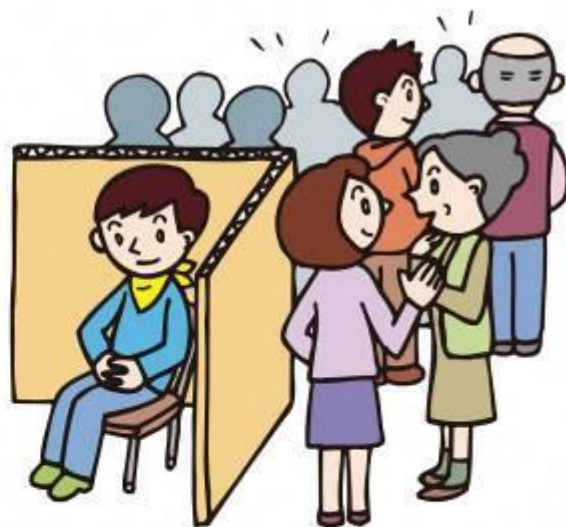
- ・ 人混み
- ・ まぶしい光
- ・ 大きな声や音
- ・ その他

- ・ 大きな声
- ・ 手を打ち続ける
- ・ 自分を叩く…など



# 気になる行動をしている人がいたら…

- しばらくは静かに見守ってください
- 静かな場所に移動して  
落ち着くまで見守ってください



# 大声で叱ったり 身体に触って静止するのは逆効果です

- × 大声で叱る
- × 突然
- × 身体に触る



# 通路を確保してください

通路が狭かったり  
段差があると  
身動きがとれないことも  
あります



# 通路を確保してください

- 車イスが通れる幅 (90cm) 以上
- 通路にはものを置かないでください





# 必要な配慮は おひとりおひとり違います

例えば・・・

## 肢体不自由のある方

- 下段に障害のある方は、段差や階段、手動ドアなどがあると歩行が妨げられてしまうことがあります。また、歩行が不安定で転倒しやすい方もいます。
- 脳性マヒの方の中には、背筋障害に加え、顔や手足などが自分の思いとは関係なく動いてしまうため、自分の意思を伝えにくい方もいます。
- 骨髄や関節を損傷された方の中には、手足が動かないだけでなく、感覚もなくなり、発熱の温度に応じた体温調節が困難な方もいます。



## 視覚障害のある方

- 目からの情報が弱いため、音声や手で触ることにより情報を入手しています。

## 聴覚・言語障害のある方

- 外見からはわかりにくい方もいます。
- 補聴器をつけている方もいますが、明確に聞こえているとは限らず、相手の口の形を読み取るなど、視覚による情報で話の内容を補っている方もいます。
- 聴覚障害のある方の中には声に出して話せる方もいますが、相手の話は聞こえていない場合もあります。



## 内臓機能に障害のある方

- 外見からはわかりにくい方もいます。
- 障害のある臓器だけでなく全身状態が低下していることもあり、体力が弱く、疲れやすいこともあります。
- 心臓ペースメーカーを埋め込んでいる場合は、電磁波などの影響を受けると動作がおそれがあります。

## 知的障害のある方

- 遠慮しない言い方や曖昧な表現は理解しにくいこともあります。
- ひとつの行動に執着したり、関心のあることばかり一方的に話す方もいます。
- 相手の表情・態度やその場の雰囲気を読み取ることが苦手な方もいます。
- 言葉よりも絵や写真のほうが理解しやすいことがあります。
- 痛みの伝わり方が弱い方や痛みがあってもうまく訴えることができない方もいます。そのため、見かけよりも症状が重い場合があります。
- パニックになったときに、怒ることは逆効果になることもあります。
- 「痛い?」と質問し、「痛い」と答えても、オウム返しをしている場合もあります。
- 環境の変化が苦手な方もいます。



## 発達障害のある方

※「発達障害」とは・・・自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、読字失調や数計算障害などのこれに属する状態の総称で、すべてが脳機能障害によるものとして扱われるものとして扱われるもの(内閣府障害者支援推進課)。

- 外見からはわかりにくい方もいます。
- 相手の言ったことを繰り返すときは、その内容を理解できていないこともあります。
- 遠慮しない言い方や曖昧な表現は理解しにくいこともあります。
- 相手の表情・態度やその場の雰囲気を読み取ることが苦手な方もいます。
- 順序立てて論理的に話すことが苦手な方もいます。
- 年齢相応の社会性が身につけていない方もいます。
- 関心のあることばかり一方的に話す方もいます。

## 精神障害のある方

- ストレスに強く、疲れやすく、対人関係やコミュニケーションが苦手な方もいます。
- 両手の指動を強制的に受け止め、恐怖感を持ってしまう方もいます。
- 外見からはわかりにくく、障害について理解されず孤立している方や、学生時代の長病や長期入院のために社会生活に慣れていない方もいます。
- 「酔っている」と間違われることもあります。服薬の関係でろうづが回らなかったり、発音が不明瞭な場合があります。
- お腹が痛い、頭が痛い等の身体症状を道徳に心配する方もいます。大げさに言ったり、病院のふりをしているのではなく、本当にそう感じている方もいます。
- 本人に「どうしますか?」と聞いても決められない場合が多くあります。
- 一度にいろいろ尋ねると混乱することもあります。



## わたしたちのこと 知ってください 応援してください

人は誰でも、住み慣れた所で暮らすことを望んでいます。  
障害者・若が安心して地域で暮らすためには、  
地域の方々のご理解や、ご協力が重要です。

### 避難場所のみなさんへ

障害のある人は、自分の気持ちや状況をうまく伝えられなかったり、  
必要な情報を集められないことがあります。  
災害時、障害のある人が  
必要な支援や情報を得られるように、  
避難場所のみなさんも応援してください。

何か困っているみたい…



こんなときのために…

- おわり -